

鶴田小学校で景観学習教室

8月28日（木）、鶴田小学校（尾崎美津郎校長）で、青森県景観アドバイザー・八戸工業大学建築工学科教授の月舘敏栄（つきだて としえい）先生を招いて景観学習教室が開かれ、4学年の全児童77人が景観について学びました。

教室では、先生が用意した世界の美しい景観の写真を見てどう思うか、学校周辺の良い景観・悪い景観とはどんなものか、自分たちで景観や環境を守るために何ができるかなどを子どもたちが発表しました。また、先生から体を使って町の景観を表現してみようと提案されると、一人ひとりが工夫して岩木山や田んぼ、橋や川を表現し、見事に鶴田町の景観を表現した「鶴田人間景観」ができあがり、先生を感心させていました。

景観が美しいということは、環境もきれいだということを学んだ1日でした。



△全身を使って鶴田の景観を表現する児童。



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを
役場企総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

中学生が町内の職場を体験

8月28日（木）、29日（金）の2日間にわたり、鶴田中学校（稲場締男校長）1学年166人が、町内のさまざまな職場に行き、実際に労働を体験する「職場体験学習」が行われました。

初日の朝、指導する職場の方からのお話が終わると早速仕事が始まりました。学校とは全く違う環境に、生徒は緊張と戸惑いの連続でした。この2日間で、生徒のみなさんは「労働」の大変さを知り、それと同時に仕事にやりがいを感じていたようです。少しだけ大人の世界に近づいた体験学習でした。

がんばれ！鶴中生



△消防署では降下訓練に挑む



△ワンワン王国（廻廻）でペットをシャンプーする。予想以上に大変な作業だ。

家族学習交流会が開かれました

8月1日（金）、西北五精神障害者家族会連合会（三上満雄会長）が主催する「西北五地区精神障害者家族学習交流会」が鶴遊館で開催されました。

この学習会は、精神障害者の社会復帰と自立を図るため、障害者と家族同士が話し合い、交流を深めることを目的に、西北五地区の家族会の方々が集まり、5年前から始まりました。

交流会では、鶴田町の特徴を出して、「五ツ太鼓」の演奏や鶴亀座の「健康劇」の公演が開かれ、その後は家族と当事者に分かれて行うグループワークが開かれました。最後は、つがる市デイケアメンバーによるミュージックベルの演奏で締めくくり、家族会による手づくりで温かい交流会となりました。



△各地区の家族会や施設による作品展示や即売コーナー



△このキャンプで、全国のいろいろな本に出会えた2人

読書キャンプで全国の友達と交流

8月2日（土）～4日（月）の2泊3日にわたり、滋賀県の琵琶湖に浮かぶ体験学習船「うみのこ」で、「わくわく子ども読書キャンプ」（独立行政法人 国立青少年教育振興機構、財団法人文字・活字文化推進機構主催）が開催され、当町から、工藤謙太君（富士見小6年）と川村沙緒里さん（同5年）の2人が参加しました。



△全国の仲間と「うみのこ」の船内で

このキャンプでは、全国から100人の児童が集い、読書について「語り合い」「考え」「まとめ」「発表する」という貴重な活動を体験し、より深い読書の魅力と大切さに触れました。

アジサイの環境整備

8月25日（月）～31日（日）の期間、各町内会で富士見湖パークへ植栽したアジサイの周辺を各町内会の皆さんが集まり、草刈り作業に精をだしました。

アジサイの周りには、たくさんの雑草が生い茂げ、場所によってはアジサイが隠れてしまう所もあり、草を刈るだけでも大変な作業でした。期間中は暑い日が続き、集まった町内会の皆さんは汗だくになりながらも、自分たちの植えた大切なアジサイを守ろうと刈り払い機や鎌を駆使して丹念に整備をしていました。

町内会の皆さん本当にお疲れ様でした。



△全町内会がそれぞれの場所を整備しました。ありがとうございました。